

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

# ComiNavi



今年の夏はどんな夏？  
暑い？ 涼しい？ 快晴？ もしかして雨模様……？  
どんな夏でも参加者の皆さんにとっては暑い夏コミなのは間違いありません。  
それならば知識もアイテムも準備万端整えて、せっかくの3日間を完全燃焼しちゃいましょう！

## ■■夏コミ参加のセオリーをCheck!!■■

コミケットは1年に2回夏と冬。そうではあっても、毎回のコミケットは全参加者にとって一発勝負。蓋を開けてみるまでどうなるか分からない。だからこそ、その勝負に勝利者となるために参加者は準備を整え、体調を整えて会場に向かうのだ。

しかし、ビギナーさんは経験から最適化を図ることが難しいし、参加回数こそ多くても何となく出かけてしまっていると、コミケットの特殊環境に対応しきれないまま本場の意味でのベテラン参加者になりかねてしまう。何よりもそれで他の参加者に迷惑をかけてしまうのはもってのほかだ。

そうならないよう、まずは基礎知識、セオリー（＝過去の経験則から導き出された定石）を一通り理解しておこう。

### ■知っておこう最新常識■

混雑は不可避、暑いのも不可避という環境の壁にうなぎ昇りの不快指数。刻一刻と削れていく体力と精神的余裕。なのに何故かお宝を求める手は止まらず手提げ袋は重さを増してギッチリと腕に食い込む……これ、何て修行？、それとも煩惱と業の重さの罰!?

夏コミというのはかくも過酷なものなのだが、それでもさすがに夏だけでもそろそろ40回も開催されているのだから、当然少しでも楽に、快適に参加しようというノウハウや知識、あるいは会場で参加者同士が気持ちよく過ごすための約束ごとともまた蓄積されているのだ。ノウハウとマナーの両方を正しく知ることからベテランへの道は始まるのだ。

**常識**

#### 綿100%ウェアは避ける。

Tシャツ、シャツ、ジーンズ、靴下、特に男性陣には下着類に至るまで、肌触りは良いものの一定以上の湿度を吸収すると非常に乾きにくく、肌にも張り付きやすい綿100%の服は全く夏コミ向きではない。

特に近年は残念ながら会期中の降雨も心配しなくてはならないときはなおさらだ。汗や雨でぐっしょりと濡れた服は身体を冷やし、動きを阻害して体力を余計に消耗させるだけでなく、混み合った中では周囲にも不快感を振りまいてしまう。

しかし、以前は高価だったり、専門店でないとう購入できなかった化学繊維系のウェアの性能向上と価格の低下は目覚ましいものがあり、多くのショップで極一般的に販売されるようになった。いまや何かの特別な理由がない限り、価格面でも、性能面でも、もちろん快適さの面でも綿100%をあえて選択する理由は見当たらないところまで来ているのだ。

ウェアが乾きやすいというそれだけのことがどれだけ体力の消耗を抑えてくれるものか、あるいは不快感を低減してくれるものか、まだ体験したことのない方は是非この夏から装備してみしてほしい。

化繊の種類としてはポリエステル系がポピュラーで、ポリウレタンやアクリル系は軽量性と速乾性ではポリエステルに相当するものの、保温性能が良いので夏には少々不向きかもしれない。

肌に直接触れる下着肌着を綿から化繊に変えるのを基本として、当日の天候や自分のファッションプランに合わせて軽くて肌に張り付きにくいシャツやズボン、足を靴の中で常にドライに保ってくれる靴下、薄くコンパクトでも雨を完全にシャットアウトしてくれる上着類など、機能性ウェアを適切に取り入れていこう。